

できごとの日

2010年3月20日(土) 19:00(開場18:30)-22:30

入場料: 1,000円(1ドリンク付)

坂本拓也
大城真
神田聡
小田寛一郎
中野静佳

FLOAT は、大阪は西九条と九条のあいだ安治川沿いにある、家・事務所・倉庫兼オープンスペースです。複数のプロジェクトの企画運営と、不定期的／定期的に空間を利用したいろいろなイベントを開催しています。

[広告] FLOAT 図書室に、面白かった本 / 薦めたい本をお持ち下さい。(FLOAT 公園化計画)

[広告] 自動販売機を作りたい人、置きたい人、物を売りたい人ご連絡ください。(管理人)

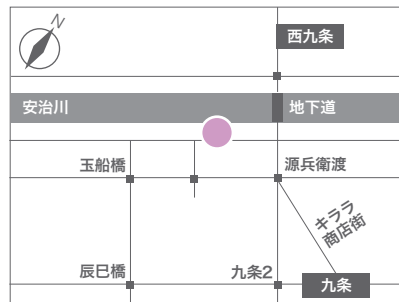
[広告] いらなくなったテレビ無料で引き取りにあげます。(ネット TV プロジェクト)

[広告] チヌ釣りのご経験のある釣り人を募集中です。(釣りプロジェクト)

ライブの日シリーズの第2回、できごとの日は、日常的な事物や、音楽や、映像などから名前を取り払ったできごと——普段は目も留めない入口にふと立ち止まって、もしくは奥に分け入って、あるいはそれらを横断するような、名前をつけづらいできごと——たちを中心にしたライブイベントです。

そこで何が起るかを、例えば「音楽」のような言葉をつかって事前に説明する事は難しく、なにかしらその場で、魅力的な体験ができる事を願います。

東京からくる坂本拓也、大城真、神田聡の3名と、小田寛一郎、中野静佳が出演します。



FLOAT

〒550-0026 大阪市西区安治川2丁目1-28 安治川倉庫

<http://float.chochopin.net/>

090-9860-2784

坂本拓也

2003年より audio/visual ユニット analogic の活動を開始、個人では色、光、形、配置、動きをテーマにした作品制作、ライブを行っている。また、DeAthAnovA / 進揚一郎 (drums) との death-logic、木下和重 (violin) との segments explosion など活動中。

大城真

1978年、沖縄県生まれ。電子機器やジャンク・身近な素材を組み合わせて制作した演奏・作曲のための楽器や道具を使ったライブパフォーマンス、またそれと平行して音 / 物体の振動と光の干渉に焦点をあてたインスタレーション作品の制作等を行っている。現在は坂本拓也との audio/visual ユニット analogic、そして虹釜太郎、土川藍との 1080° でも活動中。

神田聡

2003年からエレクトリックベースを用いた即興演奏を札幌にて始める。いまは主にベースと複数の牛乳瓶を用いて起こす出来事を演奏行為としている。シリーズ企画「series」を Loop-Line にて企画。1980年生まれ。川口貴大、山口晋似郎とのバンド Hello、神谷泰史、古立太一との dtn、古立太一との弓射でも活動を行う。

小田寛一郎

1980年佐賀県生まれ。神戸市在住。誰もが理解できるようなわかりきった行為からでも、誰もがそれぞれにいろんなことを感じ考えていることを基本にして、そのつど思いつく限りの様々なかたちで、人・空間・時間、その他いろいろへのはたらきかけをおこなっています。趣味は考えごとと読書と音楽鑑賞です。

中野静佳

2007年頃、記憶や自然のモチーフをもとにしたカセットテープの演奏を始める。現在は、演奏する場所やもの・こととの対峙を試みている。最も最近では、1年間の日付を読み上げるパフォーマンスを行う。広島県生まれ、奈良市在住。